



## 対話を通して学校を創る

校長 大谷 京司

日中の日射しには未だに厳しい暑さを感じますが、田では稲穂に白い花が見られるようになり、赤とんぼが飛び交う季節となってきました。

本校では自律的な学習を目指し、自主学習ということを進めています。指示された方が楽だとは思いますが、その繰り返しが子どもの思考を停止させてしまい、自ら考え進むべき道を見つけて切り拓く力を奪ってしまう、そう考えたからです。

自由研究発表会では、子どもたちの興味・関心に基づいて行った研究の成果が発表されます。授業の中でも「プロジェクト」という形で探究学習を進めています。「プロジェクト」を始めて4年目になりますが、少しずつ自分の興味・関心に目を向けて視野を広げたり深く掘り下げて探究していくおもしろさに気づき始めたところだと思います。

今年もわずかな時間ではありますが、自由研究発表会の後、保護者の皆さんと教職員とで、今回は「自主学習(自学自習)」というテーマで談話タイムをもちたいと思います。自分の好きなことや興味があることが学習に結びついていたら「学ぶことは楽しい」に繋がると思います。お茶を飲みながら、気軽に参加してください。



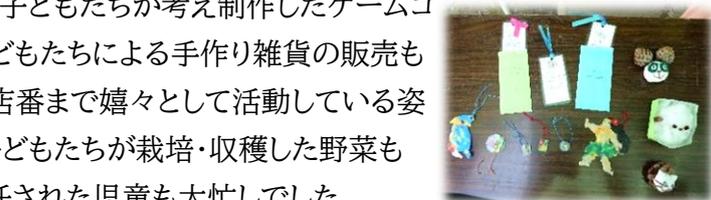
## ファミリーフェスタ 2025

昨年度の反省から、今年初めて夕方開催に踏み切った「ファミリーフェスタ 2025」。開会式では、まだ暑さを感じたものの、次第に涼しくなってきた、子どもたちにとっても参加して下さった保護者や外部出店者の方々にとっても過ごしやすい準備のゆとりを感じることができたのではないかと思います。



子どもたちのブースは、子どもたちが考え制作したゲームコーナーに加え、今年は子どもたちによる手作り雑貨の販売もあり、準備から当日のお店番まで嬉々として活動している姿が印象的でした。また、子どもたちが栽培・収穫した野菜も飛ぶように売れ、お店を任された児童も大忙しでした。

初等学校の子どもたちのお店の収益は、今年の6年生の修学旅行(島根県)の援助(昼食代等)にあてられます。



## イングリッシュデイ

様々な国の遊びや食べ物、雑貨などに触れながら、英語でのコミュニケーションにチャレンジしました。



ジェスチャーも交えて実際に英語でルールの説明を受けて遊んでみたり、ちょっと珍しい外国のお菓子の注文を試みたり、外国の雑貨を作って景品としてプレゼントしたりして、今年のイングリッシュデイもとにかくコミュニケーションを通して楽しむことを第一の目標に取り組みました。

多くの保護者の皆様にもご協力いただき、子どもたちもコミュニケーション以外にも異文化を体験する



大変貴重な機会となりました。ご協力いただきました保護者の皆様、ありがとうございました。

## 保護者も授業を体験

7月12日(土)、保護者も子どもたちと一緒に授業に参加したいとの要望を受け、朝の会から4校時終わりまで、「くらし」の授業を中心に授業に参加していただきました。参加された保護者からは、「他学年との交流しながらも、非常に楽しい学びのある授業をされている



など感じました。」「毎日学校生活で頑張っていることをしみじみ理解できたので、家で不機嫌になっても、その背景を汲み取って接することができそうです。」「みんな調理に慣れていて、テキパキとした動きに驚きました。」等の感想をいただきました。今後の授業に生かしていきたいと思えます。



## 卒業生による夏休みイベント開催

本校卒業生の横尾さんが、今まで培ってきた野生動物や空手道についての知識や技能を生かし、「共存」というテーマの下、子どもたちや保護者、教職員も楽しめる「ソータイム」を企画・実施してくれました。第1回目(7/25)はハンター



編と題し、森の探検の他、自作の竹製の水鉄砲を使ってのハンターゲーム、空手体験を、2回目(8/1)はクエスト編と題し、植物の探索の他、学校の畑で採れたスイカを使ってのスイカ割り大会、空手体験を行いました。夏休みの良い思い出の1ページになったことと思います。

